

2016年7月15日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年25号)

イパネマ地区に邦人被害の強盗事件が発生

7月13日(水)、イパネマ地区の繁華街で、日本人2名が強盗被害に遭いました。8月に開会される2016オリンピック・パラリンピック・リオ大会を控え、今後、強盗やカードスキミング、詐欺等、観光客を標的とした犯罪の多発が懸念されます。当地に滞在の間は、当館発行の安全の手引き(当館HP特設サイト参照)を参考に、自己防衛に努めて下さい。

1 発生状況

7月13日(水)午後7時30分頃、日本人2名がリオ市イパネマ地区のジェネラル・オーゾリオ(GENERAL OSORIO)駅を出て、プルデンテ・デ・モライス(Prudente de Morais)通りをレブロン地区方面に進んでいたところ、同通りの1117番地ホテル・エベレスト)付近において、自転車に乗った2人組の若者(身長180cmくらい、上半身裸)が近寄ってきて、2名に対して金品を渡すよう要求しました。2人組は、ズボンのポケットの中に凶器のような物を隠し持っている様子をみせた後、2名のカバンの中から、それぞれ、スマートフォン、カメラ、現金等を強取して逃走しました。

なお、現場の通りはリオ市の目抜き通りで、犯行時間も周囲は決して閑散な状態ではなかったとのことです。

【当館からのアドバイス】

- 外出する際は、なるべく華美な服装はさけましょう。
- 多額の現金を持ち歩かないようにしましょう。
- 常に自分が警戒していることを周りにアピールしましょう。
- スマートフォン、カメラ等は不必要な際にはカバン等に収納しておきましょう。
- 万が一、強盗に遭ってしまったら、決して抵抗せず、相手の要求に従って下さい。